

特 集

埼玉に暮らす



ー学び編ー

第二のふるさと『埼玉』で2度目の留学

埼玉大学 人文社会科学研究科 国際企画室兼務 中本 進一 教授
埼玉大学 経済経営系大学院 博士課程 ワンウェイワット ケッサワさん(タイ出身)
埼玉大学 交換留学生 アトレ シュレヤスさん(インド出身)

現在、埼玉県内の大学、短大で学んでいる留学生は4,508人います。今回は埼玉大学で学ぶ外国人留学生のケッサワさんとアトレさんのお二人と埼玉大学の中本先生に埼玉大学での「学び」や埼玉県の魅力などについてお聞きしました。

ーお二人の来日のきっかけを教えてください。ー

アトレさん 私の初来日は3歳のときで、父の仕事の関係で2年ほど日本で暮らしました。インドに戻ってから、父の日本人の友人達がインドへ来た時、私は日本語がわからず、話に加わることができず、それをきっかけに、日本語を勉強するようになりました。TMV(ティラク・マハラシュトラ大学)の法学部へ入学し、2年次に日本語・日本文化研修留学生(曰研生)として、2015年から、埼玉大学で学びました。その後、帰国しましたが、さらに日本で勉強したい気持ちが高まり、半年後に埼玉大学へ交換留学生として再来日しました。

ケッサワさん タイのチュラーランコーン大学2年のとき、研修プログラムで2週間来日したのが、初めての日本でした。大学卒業後タイで、仕事をしながら、もっと勉強したいと思い、埼玉大学の修士課程で3年半学びました。その後、タイの政府機関で10年間働きましたが、日本とタイの架け橋としてより役立ちたいという思いが強くなり、2016年4月から1年間客員研究員として埼大に在籍し、今年の4月からは博士課程に進み、さらに経済について学んでいます。

中本先生 インドは親日国で日本と縁深く、アトレさんが通っていたTMVは日本語教育が熱心なインドの中でもトップクラスの大学で、埼玉大学とも大学間交流協定を結んでいます。曰研生のプログラムの参加学生数もインド内ではTMVがトップです。

ー埼玉で暮らして、困ったことはありましたか?ー

アトレさん 日本人がシャイなことにびっくりしました。初対面の人には話してくれないし、あいさつも返してくれません。以前所属したバンドのメンバーと一緒に居酒屋が気に入り、通ううちに常連さんやオーナーと仲良くなり、バイトとして働き始めました。やめてしまったバンドですが、この居酒屋の人々と出会うきっかけとなり、今では感謝しています。私が曰研生としての留学期間を終了しインドに帰国したときは、居酒屋のオーナーが娘さんやお客さんを引き連れ、インドに会いに来てくれました。今では、日本での家族のような存在です。

ケッサワさん 日本に来て、よくわからなかったことは保険のこと、NHK受信料のこと、いろいろあります。こういうわからないことや困ったことがあると、まずはインターネットで検索しま



左からケッサワさん、中本先生、アトレさん

す。大学の先生や、以前お世話になったホストファミリーにも相談します。

中本先生 日本人に相談できるパイプがあるのは大事なことです。留学生同士でのパイプが強いことは多いですが、あわせて日本人とのパイプを持っていると、外国人同士の中では抜けている情報を補うことができます。

ー埼玉で暮らし、感じる魅力はありますかー

アトレさん インドに比べて、日本は安全だと感じています。今は人のつながりもでき、埼玉のことをとても気に入っています。

ケッサワさん 埼玉は東京に近い割に、物価が安く、そして自然災害が少ないと思います。家族とともに一緒に暮らしていますが、とても治安がいいと感じます。来日時は全く日本語が話せなかつた妻もさいたま市のボランティア主催の日本語教室に通い、来日後まだ1年ちょっとですが、一人で買い物に行けるまでになりました。今はこどもの幼稚園をリサーチ中です。

ー今後やりたいこと、将来の夢はありますか?ー

アトレさん 3年次編入を目指し、埼大でしっかり学び、日本で就職したいと思っています。埼大の中では、今までの経験を活かして、困っている留学生を助けていきたいと思っています。ボランティア活動もしているので、国際交流できる活動も積極



今後のことについて話す3人

的に行いたいです。

ケッサワさん 博士課程修了後は日本の国際機関で国際関係の仕事に携わりたいです。政府機関での仕事にも興味があります。

中本先生 二人は本当に人柄も良く、とても真面目で、周りの学生にも良い影響を与えてくれています。留学生の半数は日本で就職したいと希望していますが、実際には希望する留学生の3割しか日本で就職できていないのが現状です。まだまだ国内の社会、人、企業、受け入れ側の準備が必要です。日本人の心の国際化を進めるために、今後はもう一步踏み込み、日本人のための異文化理解教育が必要な段階に来ています。留学生を受け入れ、高度人材を多く取り込み、社会を支えていく時代となってきていると思います。

埼玉県立高校1年 庄 楓杰さん・王 佳睿さん・陳 耀龍さん

夢に向かって、勉強中

中国の中学、高校在学中に来日し、現在は埼玉県内の公立高校に進学している庄さん、王さん、陳さんの3人にお話を聞きました。

来日から高校受験を経験して

ー来日時の状況、来日後の高校受験までのことを教えてくださいー

王さん 私は中学2年のときに来日しました。先に日本に暮らしていた親と一緒に住むことになったとき、日本語はできませんでしたが、自宅で日本語を独学で勉強し、日本の公立中学校の1年に編入しました。週2回の取り出し授業(※1)と日本語の授業、日本語教室にも通いました。初めは友達と日本語でコミュニケーションがとれなくて困りましたが、簡単な英語でやりとりし、仲良くなりました。高校受験に向けての勉強は中3の冬から塾の自習室で集中的に行い、特に「公立高校過去問」をたくさん解きました。特別選抜(※2)の面接に向けた練習もしました。

庄さん 本格的に来日したのは高校1年の前半が終わったときでした。日本語は全くできませんでしたが、「こういう経験は役に立つ」と考え、不安もありましたが、とまどいはありませんでした。来日後はフリースクールに1年間通い、日本語と高校受験に必要な数学と英語を学びました。受験直前には特別選抜の過去問と面接の練習を重点的に行いました。

陳さん 去年の7月に来日しました。中国では高校1年を修了していました。元々海外に興味があったので、日本語は全くできませんでしたが、来日することに不安はありませんでした。庄くんと同じフリースクールに半年通い、勉強しました。数学が苦手だったので1日4時間くらい机に向かい、公立高校過去問とあわせて、数学の先生特製の証明問題のプリントの束を繰り返し解きました。

ー進学のときに助けになってくれた人はいますか?ー

王さん 日本語教室の大学4年生の先生です。1年間みっちり日本語を教わり、受験のこともいろいろ教えてもらいました。

庄さん フリースクールの担任の先生です。いろいろなアドバイスをくれ、本当に感謝しています。この前もフリースクールのプログラムで一緒に東京都の企業に会社訪問に行きました。

陳さん フリースクールの数学の先生です。数学が苦手だったので、たくさんお世話になりました。

埼玉の印象について

ー埼玉に住んでみて、思うことはありますか?ー

王さん 静かで住みやすいと思います。自然も多く残っているのもいいと思います。

庄さん 住んでいるところは外国人が多いので、日本に暮らしていると感じません。いろいろな外国語が街にあふれ、来日後ホームシックになることはありませんでした。

陳さん 日本に来て、びっくりしたのは街にゴミ箱がなかったことです。道路がきれいで、ゴミが落ちていないところがいいと思います。

これから夢は…

ー高校生活はどうですか?興味があることや今後やってみたいことはありますか?ー

王さん 今、取り出し授業の国語がおもしろいです。国語の先生が中国に関心があることもあって、中国のことも盛り込みながら授業が進み、とてもわかりやすく、楽しいです。部活は国際交流部に入部しています。青少年赤十字にも所属し、ボランティアにも積極的に参加しています。海外に興味があるので、外国語学部のある大学で勉強し、通訳になりたいと思っています。将来は、中国でIT関係の仕事がしたいです。

庄さん 王さんと同じで国語が今とてもおもしろいです。部活はコンピューター部に所属しています。コンピューター関係に興味があるので、IT関係のことを大学で学びたいと思っています。将来は、中国でIT関係の仕事がしたいです。

陳さん 世界史が難しいです。人物の名前が覚えられないで、がんばりたいです。元々海外が好きなので、将来はヨーロッパで働きたいと思っています。



左から、王さん、陳さん、庄さん